

한국인 일본어 학습자의 어휘 오용에 대한 모어화자의 평가*

趙南星**

<要旨>

韓国人日本語学習者の語彙の誤りに対する母語話者の評価

本稿では韓国人日本語学習者の語彙の誤りに対して、日本語母語話者の評価を調べた。その主な結果は次のとおりである。語彙の誤りはすべて同等ではなく、それぞれの重みを持っている。なお、語彙の誤りは種類別、Ⅰ[連体詞、形容動詞]、Ⅱ[熟語、ダ、品詞の取り違え、形容詞、動詞、接統詞、不定語、数量詞、副詞]、Ⅲ[コソア、表現、名詞]、Ⅳ[補助動詞、慣用的な動詞句]の順で厳しく評価されている。そして、誤りの種類別の重みと学習者の誤答率は一定の関係がなく、難しい語彙の項目であるほど、言語伝達上で大きな支障を与えない。

【키워드】 한국인 일본어 학습자, 어휘, 오용, 모어화자, 평가

1. 들어가는 말

본고에서는 한국인 일본어 학습자의 어휘 오용에 대한 일본어 모어화자의 평가를 조사하고자 한다. 학습목표가 언어전달 능력의 양성에 있어, 언어 전달상의 영향을 고려해서 오용을 평가할 경우에 필요한, 일본어 모어화자의 언어적 직관에 따른 객관적 기준을 구하는 것이다. 이는 일본어 교육의 오용분석에서 비교적 소홀히 했던 오용의 비중(error gravity)을 구하는 오용평가(error evaluation)로, 언어 교육에 직접 응용을 지향하는 실천적 접근이다.¹⁾ 지금까지는 오용의 유형, 오용의 원인, 오용의 빈도를 조사하는 오용분석이 주로 행해졌으며(寺村;1990, 市川;1997), 오용 평가의 연구는 아직 초보 단계로, 주로 문법 오용(조;2000)을 대상으로 했다. 따라서 본고에서는 한국인 일본어 학습자에게 종종 나타나는 여러 유형의 어휘 오용을 대상으로 비중에 따른 階層(hierarchy)을 설정해 본다.

구체적으로는 다음의 사항을 조사한다.

- (1) 한국인 일본어 학습자의 어휘 오용 종류별 정정의 정답률
- (2) 한국인 일본어 학습자의 문제별 어휘 오용 정정의 정답률
- (3) 한국인 일본어 학습자의 어휘 오용 종류별 정정의 유형수

* 이 논문은 2000년도 한국학술진흥재단의 지원에 의하여 연구되었음(KRF-2000-041-A00238)

** 한밭대학교

- (4) 한국인 일본어 학습자의 문제별 어휘 오용 정정의 유형수
- (5) 일본어 모어화자의 어휘 오용 종류별 비중
- (6) 일본어 모어화자의 문제별 어휘 오용의 비중
- (7) 일본어 모어화자의 어휘 오용 종류별 인정률
- (8) 일본어 모어화자의 문제별 어휘 오용의 인정률
- (9) 일본어 모어화자의 어휘 오용 종류별 정정의 유형수
- (10) 일본어 모어화자의 문제별 어휘 오용 정정의 유형수

2. 연구 방법

2.1 조사 I : 한국인 일본어 학습자의 어휘 오용 정정

조사 I에서는 한국인 일본어 학습자 오용의 속성(오용 정정 유형별 빈도의 내역)을 분명히 하기 위해서, 그리고 오용에 대한 평가의 결과를 보다 효율적으로 이용하기 위해서, 오용에 대한 정정 테스트를 한다.

2.1.1 참여자

조사 참여자는 H대학교에서 일본어를 전공하는 주·야간 학생(4학년 : 8학기 수강) 41명이다.

2.1.2 조사 재료

<표1>은 ‘조사 문제’를 나타낸다. 이는 手代木(2000), 李(1992), 寺村(1990) 등을 참조해서 선택한 것으로, 한국인 일본어 학습자에게 종종 나타난다고 간주한 어휘 오용 112개이다. 이는 한국에서 일본어를 가르치고 있는 일본인 교사 5명[남자 1명, 여자 4명으로, 일본어 교사 경력은 평균 2.4년(1~6년)이며, 이 중에서 3명은 한국어의 의사 소통에 전혀 지장이 없고, 2명은 한국어의 학습 경험이 없다]에게 예비 조사하여 선택한 것으로, 5명 중에서 2명 이상이 정용(正用)이라고 판단한 문제는 제외된 것이다. 그리고 아래의 문장은 조사의 객관성을 높이기 위해서 조사 문제에 포함시킨 정용의 문장이다.²⁾

- ①あの女の人は美しい顔をしている。
- ②冬はさむいから、ストーブがなければ過ごすことができない。
- ③ゆうべは頭がいたくて早くねてしまった。でも、宿題はやったよ。
- ④日本には四季すなわち春・夏・秋・冬の変化がある。
- ⑤午後から雨がふるそうですから、雨具の用意をして行きなさい。

2.1.3 조사 순서

<표1> 조사 문제

오용의 종류 (문제수:112)	문제 (정답률은 「2.1.4 분석 방법」, 인정률과 오용 비중은 「2.2.4 분석 방법」을 참조)→	정답률 (%)	인정률 (%)	오용 비중
1.품사의 혼동 (3)	1.ここは高い所だから、大水になっても安全する。 20.これは、彼の私的の問題である。 23.先生の質問に正しく <u>答</u> えて下さい。	82.9 41.5 92.7	100 72.7 100	3.18 2.48 2.71
2.동사 (17)	2.あなたは毎日どんな新聞を見 <u>見</u> ていますか。 3.日本へ留学したら日本人の家庭で日本語を使って <u>住</u> むほうがいいですよ。 4.ゆびを切ったときはとても <u>も</u> いたい <u>と</u> 考 <u>考</u> えた。 5.まささおな顔をして、 <u>ど</u> うな <u>な</u> ったのですか。 6.なんでも話し合 <u>あ</u> うことができるよ <u>う</u> な友 <u>友</u> 達が <u>ひ</u> と <u>り</u> も <u>な</u> い。 26.夕方 <u>う</u> ちへ <u>行</u> きました。 31.ようふくを作 <u>つ</u> りたいのですが、何日ぐ <u>ら</u> いで <u>な</u> りますか。 32.あしたの朝友だちと <u>駅</u> で <u>見</u> ることになってい <u>い</u> る。 37.日よ <u>う</u> 日 <u>に</u> て <u>ん</u> らん会へ <u>行</u> ったら、 <u>と</u> ても <u>複</u> 雑して、 <u>ゆ</u> っくり見 <u>見</u> られませんでした。 38.赤いスカート <u>を</u> 着 <u>着</u> ている。 45.父はわたしに <u>す</u> をたの <u>む</u> と <u>話</u> して出 <u>出</u> かけました。 50.くら <u>か</u> ったので、そこ <u>に</u> いた人 <u>が</u> だ <u>れ</u> だ <u>っ</u> たか <u>知</u> ら <u>な</u> かった。 56.バスが子 <u>こ</u> どもを <u>ひ</u> くという事 <u>事</u> 故 <u>が</u> でき <u>き</u> た。 60.このへ <u>や</u> は風 <u>か</u> が <u>通</u> じるから <u>す</u> ず <u>し</u> い。 73.親切 <u>ち</u> に <u>し</u> な <u>か</u> ったので、 <u>悪</u> い印象 <u>を</u> あ <u>げ</u> たか <u>も</u> し <u>れ</u> ませ <u>ん</u> 。 106.学生に <u>ほ</u> しいことは <u>次</u> のよ <u>う</u> なこ <u>と</u> です。 112.「また来 <u>来</u> ます。」と <u>し</u> て <u>帰</u> りました。	92.7 48.8 70.7 63.4 100 87.8 51.2 87.8 85.4 75.6 68.3 9.8 22.0 51.2 12.2 90.2	90.9 75.8 69.7 78.8 100 54.5 75.8 100 90.9 87.9 97.0 72.7 93.9 97.0 87.9 100	1.46 2.18 2.57 2.82 1.96 2.07 2.96 3.79 1.57 2.11 2.61 3.50 2.54 3.04 2.93 3.29
3.보조동사 (1)	61.友だちから手紙が来たが、それには <u>た</u> いしたことは <u>書</u> いてい <u>ま</u> せ <u>ん</u> 。	63.4	75.8	1.93
4.관용적인 동사구 (7)	36. ひまにな <u>っ</u> たら <u>あ</u> そ <u>ん</u> で来 <u>来</u> てく <u>だ</u> さい。 57. この <u>と</u> けいは一日に二分 <u>お</u> そ <u>く</u> な <u>る</u> 。 63. つゆのころは毎日雨 <u>が</u> ふ <u>り</u> つ <u>づ</u> けるので <u>気</u> 持 <u>ち</u> が <u>悪</u> い。 64. 道路が立体化にな <u>っ</u> てから自動車のな <u>が</u> れ <u>が</u> よ <u>く</u> な <u>っ</u> た。 66. 頭 <u>が</u> い <u>た</u> いので <u>き</u> ょうは <u>学</u> 校を休 <u>ひ</u> よ <u>う</u> に <u>し</u> ま <u>す</u> 。 68. 夏は生の食 <u>べ</u> 物 <u>を</u> な <u>る</u> べ <u>く</u> 食 <u>べ</u> ない <u>こ</u> とに <u>気</u> をつ <u>け</u> てい <u>ま</u> す。 103. も <u>っ</u> と <u>声</u> を <u>低</u> めてく <u>だ</u> さい。	90.2 31.7 17.1 22.0 63.4 63.4 0.0	93.9 81.8 36.4 45.5 72.7 75.8 48.5	3.43 1.22 1.25 1.32 1.86 2.26 1.93
5.형용사 (7)	22. 日本語をおぼ <u>え</u> るのは <u>や</u> す <u>く</u> ない。 40. あなたは必要 <u>な</u> こと <u>だ</u> け <u>話</u> せ <u>ば</u> な <u>る</u> 。 69. きょうはクリスマス <u>で</u> すから、歌 <u>を</u> 歌 <u>っ</u> て <u>お</u> も <u>し</u> ろ <u>く</u> す <u>ご</u> し <u>ま</u> し <u>よ</u> う。 71. <u>こ</u> こ <u>で</u> た <u>ば</u> こ <u>を</u> す <u>ず</u> ても <u>な</u> り <u>ま</u> すか。 75. 日本 <u>の</u> 歴史 <u>に</u> つ <u>い</u> て勉強 <u>し</u> たい <u>の</u> ですが、 <u>ど</u> んな本 <u>を</u> 読 <u>ん</u> だ <u>ら</u> 好 <u>き</u> で <u>し</u> ょうか。 87. 山 <u>の</u> 朝 <u>の</u> 空 <u>気</u> は <u>は</u> だ <u>を</u> さ <u>す</u> よ <u>う</u> に寒 <u>か</u> った。 110. い <u>っ</u> し <u>ょ</u> に山へ <u>行</u> った <u>こ</u> とは、 <u>う</u> れ <u>し</u> い思 <u>い</u> 出 <u>で</u> す。	12.2 63.4 65.9 85.4 97.6 46.3 65.9	36.4 90.9 90.9 72.7 97.0 81.8 60.6	2.85 3.64 1.86 4.00 3.71 1.39 1.21
6.형용동사 (2)	49. 料理を作る <u>の</u> が <u>う</u> る <u>さ</u> い <u>の</u> で、外 <u>の</u> 店 <u>で</u> 食 <u>べ</u> ま <u>す</u> 。 77. <u>だ</u> め <u>だ</u> ら <u>う</u> と思 <u>っ</u> たら <u>や</u> す <u>く</u> で <u>き</u> た。	46.3 9.8	84.8 66.7	3.36 2.86
7.ㄱ (6)	9. <u>い</u> くら <u>ず</u> う <u>ず</u> う <u>し</u> くても、人 <u>の</u> お <u>金</u> を <u>だ</u> ま <u>っ</u> て使 <u>っ</u> て <u>し</u> ま <u>う</u> ほ <u>ど</u> は <u>な</u> い <u>で</u> し <u>よ</u> う。 27. 日本 <u>の</u> 女性 <u>の</u> 態 <u>度</u> は <u>た</u> い <u>へ</u> ん <u>や</u> さ <u>し</u> い <u>だ</u> と <u>言</u> わ <u>れ</u> てい <u>る</u> 。 42. <u>あ</u> の <u>人</u> が欠 <u>席</u> した <u>の</u> は病 <u>気</u> から <u>で</u> な <u>く</u> 、用 <u>事</u> が <u>あ</u> った <u>か</u> ら <u>だ</u> と思 <u>い</u> ま <u>す</u> 。 78. <u>彼</u> は警察 <u>に</u> 犯 <u>人</u> が <u>な</u> い <u>か</u> と疑 <u>わ</u> れてい <u>る</u> 。 79. <u>あ</u> つ <u>い</u> だ <u>か</u> ら <u>ま</u> ど <u>を</u> あ <u>け</u> てく <u>だ</u> さい。 109. <u>あ</u> の <u>人</u> は医 <u>者</u> で <u>あ</u> り、 <u>ま</u> た <u>大</u> 学 <u>の</u> 先 <u>生</u> も <u>あ</u> る。	70.7 95.1 17.1 29.3 82.9 73.2	87.9 97.0 63.6 90.9 90.9 100	2.41 3.00 1.89 3.63 2.74 3.11

8.명사 (21)	7. 5月5日は子どもの日で公休日です。	14.6	45.6	1.79
	10. ジャズはクラシック音楽にくらべて深さが無いと思いませんか。	43.9	60.6	1.46
	11. たいせつな手紙は、登記にするほうがいい。	58.5	69.7	3.74
	12. 子どもの生日のパーティには、友だちを五、六人よぶつもりです。	95.1	97.0	3.07
	13. 「両親はお元気でいらっしゃいますか。」「はい、おかげさまで、両親は元気です。」	61.0	93.9	1.79
	16. 子どもは親に孝道しなければいけません。	78.0	90.9	3.07
	28. あなたはどんな飲食が好きですか。	80.5	81.8	2.46
	41. 赤ちゃんがねむっている中にせんたくをしましょう。	87.8	100	3.18
	43. 自身の考えが自分にもわからない。	90.2	72.7	1.56
	44. お金がなくてこまるような場合があったら、私へ来なさい。	48.8	93.9	2.79
	47. 親切ということは人の心を明るくする。	34.1	48.5	1.62
	59. 出た先はわかりませんか。	4.9	33.3	2.14
	70. けっこんするなら心のきれいな女子としたい。	41.5	51.5	2.11
	72. 「弟は、どこにおつとめですか。」「上の弟は銀行に、下の弟は学校につとめております。」	58.5	90.9	2.74
	80. 父とごろんして、私は医学の勉強をすることにします。	78.0	69.7	2.50
	81. わたしたちは、やっと頂上にのぼった。そして、 <u>そのところ</u> でごはんを食べた。	63.4	97.0	2.30
	82. 仕事をかたづけのに忙しい日を過ごしています。	26.8	69.7	1.63
	83. このごろのわかい人はあいさつ <u>の方法</u> も知らない。	39.0	100	1.57
	85. 人々がおおぜい通りを歩いています。	43.9	69.7	1.21
89. 先生は学生とは他の[な]たものに住んでいる。	24.4	81.8	1.88	
96. あのふたりは兄弟でも性格に <u>差異</u> がある。	31.7	66.7	1.33	
9.부사 (12)	19. 電話がとおいのもう大きな声で話してください。	70.7	93.9	3.50
	21. こんなに危険な旅行ははじめに経験しました。	78.0	97.0	3.04
	46. これで仕事はたいいおわりました。	68.3	72.7	1.89
	52. いくらいたいか、この病気になる人でないかわからない。	29.3	39.4	2.70
	53. この問題はむずかしくてよく <u>解</u> けません。	12.2	45.5	1.96
	58. げんかんのベルをならしても出てこないから、 <u>かならず</u> ですすよ。	17.0	72.7	2.61
	65. 電話が聞こえません。 <u>より</u> 大きい声でおねがいします。	61.0	97.0	1.52
	86. へやがたくさんちらかっていますが、どうぞおあがりください。	53.7	54.5	2.54
	90. きょうは <u>あまり</u> つかれた。	46.3	54.5	3.71
	92. 夜、 <u>うまく</u> 眠れなくてこまる。	68.3	66.7	2.21
	93. 今度の音楽会へは <u>きつ</u> と行きたい。	24.4	42.4	1.64
111.先生は学生にもう勉強するようにと言いました。	41.5	63.6	2.77	
10.연체사 (1)	14. むかしむかし <u>どの</u> 所におじいさんとおばあさんがいました。	61.0	100	3.93
11.코사 (5)	48. 君もぼくも <u>その</u> ころはほんとうに元気だったなあ。	65.9	72.7	1.19
	62. 3時以前は会社ですが、 <u>その</u> 以後はるすになります。	7.3	97.0	2.11
	67. あなたのそばに大きな字引きがありますね。 <u>その</u> ものはだれのですか。	51.2	100	2.71
	95. 「これは田中さんがしたことにちがいません。」と、 <u>こんなに</u> 山川さんは言いました。	46.3	39.4	3.04
108.あなたのほうが <u>それ</u> わけなら、私も考えを変えなければならぬ。	7.3	75.8	3.20	
12.부정어 (10)	15. あまりたくさんあるから、 <u>どちら</u> かいいかわからない。	17.1	90.9	2.32
	18. 「ここに赤・白・青、大小いろいろな花がありますが、あなたは <u>ある</u> 花が好きですか。」	34.1	97.0	4.04
	29. <u>どの</u> くらいつらくてもがまんするのが男だ。	9.6	63.6	2.61
	33. よく考えもしないでわからない <u>なん</u> か言うのは、いけないことだ。	9.8	48.5	2.64
	34. 私たちの知らない <u>何</u> がそこにあるのにちがいない。	46.3	90.9	2.81
	51. 「あなたは <u>何</u> の音楽が好きですか。」「わたしは <u>しず</u> かな曲が好きです。」	75.6	81.8	1.89
54. 日本へ来たばかりで、まだ <u>どこ</u> でも行っただことがないのです。	56.1	100	2.86	
84. りんごとみかんと <u>どの</u> ほうが好きですか。	53.7	69.7	2.32	

한국인 일본어 학습자의 어휘 오용에 대한 모어화자의 평가

	88. このしゃしんの中で、 <u>どんな</u> かたがあなたの先生ですか。 94. あなたは <u>どの国</u> からいらっしゃいましたか。	65.9 4.9	90.9 63.6	3.04 1.43
13.수량사 (7)	17. 毎月給料のうちから <u>万円</u> 貯金している。 25. <u>一番</u> 聞いただけではおぼえられない。 30. にわとりを三百匹ぐらいかっています。 35. 田中君にノートを4 <u>巻</u> かしてもらった。 76. 地下3 <u>層</u> まであるたてものです。 98. 四谷駅は新宿から四 <u>つ</u> の駅です。 104.このことは <u>一学年</u> のときに、すでになっているはずで。	75.6 87.8 70.7 65.9 85.4 51.2 92.7	87.9 100 93.9 100 100 100 60.6	3.21 3.57 1.71 2.71 2.54 2.52 1.43
14.접속사 (5)	24. はれていたので <u>せんたく</u> をしました。 <u>ところで</u> 、急に雨がふり出しました。 74. 電車で行きますか、 <u>または</u> バスで行きますか。 99. わたしの家へ3時ごろ友だちがあそびに来た。 <u>それなら</u> 6時ごろ帰った。 100.ちょっと紙を買って来てください。 <u>また</u> インキも。 107.どうすればよいのか、 <u>ほくひとり</u> ではわかりません。 <u>そうして</u> きょうはごそうだんにかがったのですが。	31.7 26.8 85.4 0.0 53.7	66.7 72.7 97.0 36.4 48.5	3.46 1.44 3.43 2.14 2.79
15.숙어 (1)	101. その人に電話をかけておいて、 <u>うかがった</u> のがいいでしょう。	53.7	100	2.96
16.표현 (7)	8. あの人は長い間イギリスにいたから、英語がたいへん <u>よく</u> する。 39. 話相手がなくて、 <u>きもちが寂</u> しかったら、いつでもうちへあそびにいらっしゃい。 55. 人間は <u>考え</u> をする動物だ。 91. こんなに <u>天気</u> があつては何もできません。 97. このスープはしおがはいりすぎていて <u>あじ</u> がからいね。 102. 田中さんは目がよわいので、いつも <u>色</u> が <u>黒い</u> めがねをかけています。 105. 日本には正月をさかんに <u>祝い</u> にする <u>習慣</u> があります。	75.6 24.4 75.6 41.5 39.0 39.0 29.3	90.9 87.9 100 78.9 60.6 57.6 84.8	3.07 2.07 2.61 2.19 1.93 1.50 2.75

조사는 문제의 문장에 밑줄 친 부분을 정정하도록 하였다. 그리고 사전 사용 및 시간의 제약 등은 하지 않았다.

2.1.4 분석 방법

한국인 일본어 학습자의 오용 정정 유형에 대한 正誤 판정은 일본어 모어화자의 정정 유형을 기준으로 했다. 여기서의 정오 판정은 일본어 모어화자가 문제별 오용에 해당하는 정용 표현을 얼마나 사용하고 있는가를 고려했다. 즉 참여자 33명 중에서 1/3 이상(11명)이 사용한 표현을 정용의 대상으로 했다. 그리고 오용 정정의 유형수는 2명 이상이 회답한 것을 대상으로 했다.

2.2 조사Ⅱ : 일본인 모어화자의 오용 정정 및 평가

조사Ⅱ에서는 한국인 일본어 학습자의 오용에 대하여 일본어 모어화자가 어떻게 정정하고, 오용의 비중을 어떻게 판정하는가를 살펴본다.

2.2.1 조사 참여자

조사 참여자는 일본의 G, N대학교 학생 28명으로, 대학생 11명, 대학원생 17명(남자 12명, 여자 16명)으로 대부분 일본어 관련 전공자이며, 한국어 학습 경험은 없다.³⁾

2.2.2 조사 재료

조사 재료는 조사 I 과 같다.

2.2.3 조사 순서

조사는 문제의 문장에 밑줄 친 부분을 정정하고, 오용의 비중에 대해서 5단계 척도로 평가하도록 했다. 평가의 척도는 다음과 같다.

1:ごくささいな誤り	2:ささいな誤り	3:やや重大な誤り	4:かなり重大な誤り	5:非常に重大な誤り
------------	----------	-----------	------------	------------

2.2.4 분석 방법

오용의 비중은 5단계 척도에서 척도치1은 1점, 2는 2점 ... 5는 5점으로 해서 구했다. 즉 평균득점(비중)은 최저득점이 1점, 최고득점이 5점이다. 평균득점이 높을수록 엄하게 평가한 것으로 비중이 높은 심각한 오용이다. 오용의 종류는 寺村(1990)의 『外国人学習者の日本語誤用例集』를 참조해서 분류했다. 오용의 인정률은 참여자 33명 중에서 1/3 이상(11명)이 사용한 표현을 올바른 인정의 대상으로 했다. 그리고 오용 정정의 유형수는 2명 이상이 회답한 것을 대상으로 했다.

3. 조사 I 에 대한 결과 및 고찰

3.1 어휘 오용 종류별 정정의 정답률

<표2>는 ‘어휘 오용 종류별 정정의 정답률’을 나타낸다. <표2>에서 어휘 오용 종류별 정정의 정답률을 보면, ‘13.수량사’(75.6%)가 가장 높고, ‘6.형용동사’(28.1%)가 가장 낮다. 그리고 어휘 오용 종류별 정정의 정답률은 개략적으로, I [13.수량사, 1.품사의 혼동, 3.보조동사, 5.형용사, 2.동사, 7.ㄱ, 10.연체사](60% 이상), II [15.숙어, 8.명사, 9.부사, 16.표현, 4.관용적인 동사구](40% 이상~60% 미만), III [14.접속사, 12.부정어, 11.コソア, 6.형용동사](40% 미만)의 3단계로 나눌 수가 있겠다.

<표2> 어휘 오용 종류별 정정의 정답률

오용의 종류 (문제수 : 112)	정답률(%)	순위	오용의 종류 (문제수 : 112)	정답률(%)	순위
1.품사의 혼동 (3)	72.4	2	9.부사 (12)	47.6	10
2.동사 (17)	62.3	5	10.연체사 (1)	61.0	7
3.보조동사 (1)	63.4	3	11.コソア (5)	35.6	15
4.관용적인 동사구 (7)	41.1	12	12.부정어 (10)	37.3	14
5.형용사 (7)	62.4	4	13.수량사 (7)	75.6	1
6.형용동사 (2)	28.1	16	14.접속사 (5)	39.5	13
7.ㄱ (6)	61.4	6	15.숙어 (1)	53.7	8
8.명사 (21)	52.6	9	16.표현 (7)	46.3	11

주)정정의 정답률은 <표4>의 +표에서 구한 것으로 <표1>을 참조.

3.2 문제별 어휘 오용 정정의 정답률

<표1>에서 문제별 어휘 오용 정정의 정답률을 보면, 문제6(…友達がひとりもない。), 75(…どんな本を読んだら好きでしょうか。), 27(…やさしいだと言われている。), 12(子どもの生日のパーティには、…), 23, 2, 104, 112, 36, 43(90% 이상) 등이 높고, 문제103(…もっと声を低めてください。), 100(ちょっと紙を買って来てください。またインキも。), 59(…出た先はわかりませんか。), 94(あなたはどの国からいらっしゃいましたか。), 108, 62, 56, 77, 29, 33(10.0% 이하) 등이 낮다.

3.3 한국인 일본어 학습자의 어휘 오용 종류별 정정의 유형수

<표3>는 ‘한국인 일본어 학습자의 어휘 오용 종류별 정정의 유형수’를 나타낸다. <표3>에서 어휘 오용 종류별 정정의 유형수를 보면, ‘16.표현’(4.9개)이 가장 많고, ‘13.수량사’(2.4개)가 가장 적다. 그리고 어휘 오용 종류별 정정의 유형수는 개략적으로, I[16.표현, 4.관용적인 동사구, 6.형용동사, 12.부정어, 9.부사, 14.접속사 10.연체사, 11.コソア, 15.숙어](4.0개 이상), II[1.품사의 혼동, 8.명사, 2.동사, 7.ㄱ, 3.보조동사](3.0개 이상~4.0개 미만), III[5.형용사, 13.수량사](3.0개 미만)의 3단계로 나눌 수가 있겠다.

<표3> 한국인 일본어 학습자의 어휘 오용 종류별 정정의 유형수

오용의 종류 (문제수 : 113)	정정 유형수	순위	오용의 종류 (문제수 : 113)	정정 유형수	순위
1.품사의 혼동 (3)	3.7	10	9.부사 (12)	4.3	5
2.동사 (17)	3.6	12	10.연체사 (1)	4.0	7
3.보조동사 (1)	3.0	14	11.コソア (5)	4.0	7
4.관용적인 동사구 (7)	4.6	2	12.부정어 (10)	4.5	3
5.형용사 (7)	2.7	15	13.수량사 (7)	2.4	16
6.형용동사 (2)	4.5	3	14.접속사 (5)	4.2	6
7.ㄱ (6)	3.3	13	15.숙어 (1)	4.0	7
8.명사 (21)	3.7	10	16.표현 (7)	4.9	1

주)정정의 유형수는 <표4>에서 구한 것.

3.4 한국인 일본어 학습자의 문제별 어휘 오용 정정의 유형수

<표4>는 ‘한국인 일본어 학습자와 일본어 모어화자의 오용 정정 내역’을 나타낸다. <표4>에서 한국인 일본어 학습자의 문제별 어휘 오용 정정의 유형수를 보면, 문제106(学生にほしいことは次のようなことです。), 64(道路が立体化になってから自動車のながれがよかった。), 33(よく考えもしないでわからないなんか言うのは、…), 20, 7, 59, 105, 103(7개 이상) 등이 많고, 23, 1, 32, 75, 12, 104(1개) 등이 적다.

4. 조사Ⅱ에 대한 결과 및 고찰

4.1 어휘 오용 종류별 비중

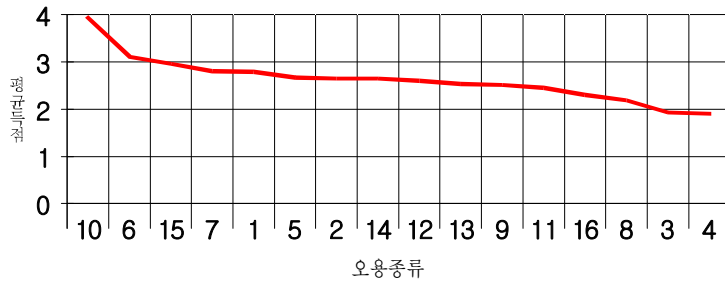
4.1.1 어휘 오용 종류별 비중

<표5>는 ‘어휘 오용 종류별 비중’을 나타낸다. <표5>에서 어휘 오용 종류별 비중을 보면, ‘10.연체사’(3.93), 가 가장 높고, ‘4.관용적인 동사구’(1.90)가 가장 낮다. 그리고 어휘 오용 종류별 비중은 개략적으로, I [10.연체사, 6.형용동사](3.00 이상), II [15.속어, 7.ㄹ, 1.품사의 혼동, 5.형용사, 2.동사, 14.접속사, 12.부정어, 13.수량사, 9.부사](2.50 이상~3.00 미만), III [11.コソア, 16.표현, 8.명사](2.00 이상~2.50 미만), IV [3.보조동사, 4.관용적인 동사구](2.00 미만)의 4단계로 나눌 수가 있겠다.

<표5> 어휘 오용 종류별 비중

오용의 종류 (문제수 : 112)	비중	순위
1.품사의 혼동 (3)	2.79	5
2.동사 (17)	2.65	7
3.보조동사 (1)	1.93	15
4.관용적인 동사구 (7)	1.90	16
5.형용사 (7)	2.67	6
6.형용동사 (2)	3.11	2
7.ㄹ (6)	2.80	4
8.명사 (21)	2.19	14
9.부사 (12)	2.51	11
10.연체사 (1)	3.93	1
11.コソア (5)	2.45	12
12.부정어 (10)	2.60	9
13.수량사 (7)	2.53	10
14.접속사 (5)	2.65	7
15.속어 (1)	2.96	3
16.표현 (7)	2.30	13

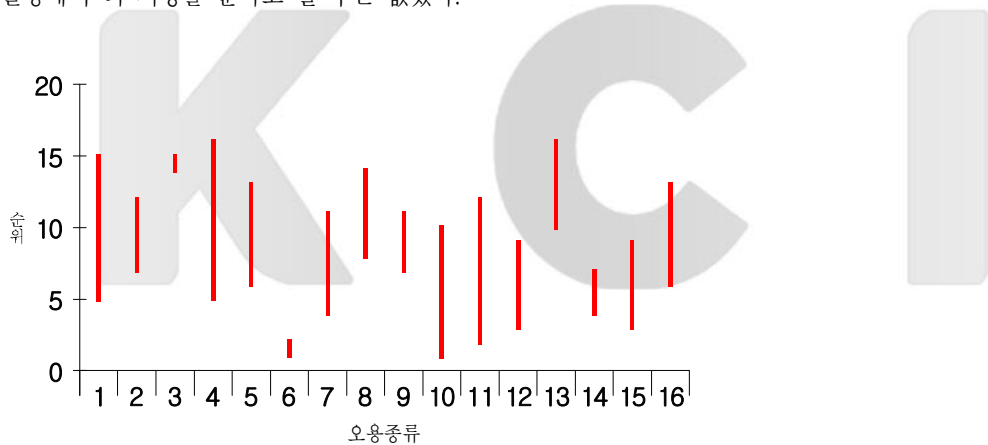
주)오용의 비중은 <표1>에서 구한 것.



<그림1> 어휘 오용 종류별 비중

4.1.2 오용의 종류별, 비중과 오답률의 순위 비교

<그림2>는 ‘오용의 종류별, 비중과 오답률의 순위 비교’를 나타내고 있다. <그림2>에서 보면, 오용의 종류3(보조동사)과 종류6(형용동사)을 제외하고는 순위에 많은 차이를 보이고 있다. 특히 종류4(관용적인 동사구), 종류1(품사의 혼동), 종류11(コソア), 종류10(연체사) 등은 그 차이가 크다. 따라서 오용의 종류별, 비중과 오답률은 일정한 관계가 없다고 할 수 있다. 즉 학습자에게 어려운 어휘 학습 항목일 수록 언어 전달상에서 더 지장을 준다고 할 수는 없겠다.



<그림2>오용의 종류별, 비중과 오답률의 순위 비교

<표4> 한국인 일본어 학습자와 일본어 모어화자의 오용 정정 내역

번호	정정 유형 (부호는 표의 '주'참조)	K 41 명	J 33 명												
1	+ 1.安全だ([です], [である])	34	33(5)	9	+ 1.ではない 2.いられない 3.○ 4.ずうずうし くはない 5.ほしくない 6.ひどくは ない 7.悪いことは ない 기타 무답	29	29(3)	1 6	+ 1.孝行 2.親に孝道 →親孝行 3.孝 4.○ 무답	32	30(3)	2 4	+ 1.○ 2.ところが 3.しかし 4.さて 5.でも 6.その時 7.すると 8.そして 9.そこで 기타	14	-
	2.○	4	-												
2	+ 1.読んで 2.○ 기타	38	30(5)	1 0	+ 1.深み 2.○ 3.重さ 4.重厚さ 5.趣き 6.おもしろ味 7.重み 8.? 기타	18	20(1)	1 7	+ 1.一万円 2.万円ずつ 3.○ 4.数万円 5.何万円か	31	29(5)	2 5	+ 1.一度 2.一回 3.一番目 4.○ 기타	30	21(3)
	2.○	2	3												
3	+ 1.住んだ 2.暮す + 3.生活する 4.○ 5.過ごす 6.いる 7.暮した 기타	17	3(1)	1 0	+ 1.書留 2.○ 3.速達 4.? 5.登記に →保管 기타 무답	24	23(4)	1 8	+ 1.どんな 2.どの 3.どちら(の) 4.○ 기타	18	1(1)	2 5	+ 1.帰りました 2.○ 3.来ました 4.戻りました 기타	36	18(4)
	2.○	16	14(1)												
4	+ 1.思った 2.感じた 3.思う 4.思えた 5.思いました 기타	29	23(5)	1 1	+ 1.誕生日 2.○ 기타	39	32(5)	1 9	+ 1.私的な 2.個人的 3.個人的の 4.個人の 5.ことの 6.自分の 7.個人的な 8.○ 9.彼自身の 10.トル 기타	17	24(2)	2 7	+ 1.食べ物 2.食物 3.料理 4.○ 5.食事 6.飲み物	33	27(5)
	2.○	6	8												
5	+ 1.した 2.○ 3.なる 4.なされた 기타	26	26(5)	1 2	+ 1.ある 2.どんな 3.あの 4.その 5.○ 기타	25	33(5)	2 0	+ 1.はじめて 2.最初(に) 3.○ 기타 무답	32	32(5)	8	+ 1.いくら 2.どんなに 3.○ 4.どのくらい 5.いくらぐらい 6.ある程度まで 7.どれだけ 8.どれほど 9.どれぐらい 기타	24	6(1)
	2.○	6	-												
6	+ 1.いない	41	33(5)	1 3	+ 1.一両親 2.○ 3.親 4.お親 기타	25	31(5)	2 1	+ 1.やさしく 2.○ 3.たやすく 4.かんたん で(は) 5.容易(で)は 6.? 기타	31	7(1)	3 0	+ 1.羽 2.○ 기타	29	31(5)
	2.○	6	-												
7	+ 1.休日 2.休みの日 + 3.祝日 4.休み 5.公休 6.休み日 7.○ 8.国民の休日 9.祭日 10.お休み	15	5	1 4	+ 1.○ 2.どれ 3.なに 4.どっち 5.どこ 6.どのほう 7.どち 기타	11	1	2 2	+ 1.答えて 2.○ 기타	38	33(5)	1 3	+ 1.できます 2.かかります 3.○ 4.できあがり ます 기타 무답	21	25(4)
	2.○	7	-												
8	+ 1.上手だ([です]) 2.上手になる + 3.よくできる 4.よくなった 5.よくしゃべる 6.○ 7.うまい 기타	29	14(4)	1 5	+ 1.○ 2.どれ 3.なに 4.どっち 5.どこ 6.どのほう 7.どち 기타	11	1	2 3	+ 1.○ 2.○ 기타	31	3	3 1	+ 1.○ 2.○ 기타	14	-
	2.○	2	-												

60	1.○	11	1	66	+ 1.ことにします	26	24(4)	74	1.○	16	6	83	+ 1.仕方	16	33(5)
	+ 2.通る	9	31(5)		2.○	9	4		+ 2.それとも	11	24(5)		2.○	12	-
61	3.通う	9	-	67	3.ようになり	4	-	75	3.あるいは	10	1	84	4.こと	2	-
	4.吹く	5	-		4.休もうと	-	2		4.また	2	-		5.トル	-	2
62	5.入る	2	1	68	5.休みます	-	1	76	5.トル	2	-	85	ギタ	6	-
	6.通す	2	-		6.つもりです	-	2(1)		+ 1.いい/よい	40	32(5)		無答	1	-
63	ギタ	3	-	69	ギタ	1	-	77	2.いいの	-	1	86	2.どちらの方	16	3
	+ 1.ありません	26	25(4)		+ 1.それ	21	33(5)		7. + 1.階	35	33(5)		3.○	2	-
64	2.○	8	3	70	2.あのもの	9	-	78	2.○	6	-	87	5.どっちの方	-	2
	3.いませんでした	5	2(1)		3.○	6	-		+ 3.簡単に	4	22(4)		ギタ	1	-
65	4.?	-	1	71	4.そのこと	4	-	79	4.よく	3	-	88	2.○	12	10
	5.ない	-	1		+ 1.ように	26	25(5)		5.たやすく	-	8(1)		3.人たち	8	-
66	6.いなかった	-	1	72	5.ことを	-	1	80	6.容易に	-	1	89	無答	1	-
	ギタ	1	-		6.よう	-	5		7.すぐ	-	1		+ 1.とても	22	18(4)
67	無答	1	-	73	ギタ	1	-	81	8.?	-	1	90	3.たいへん	5	7
	1.あの	17	-		+ 1.たのしく	27	30(5)		1.かいない	14	3		4.多く	4	-
68	2.○	17	-	74	2.○	8	3	82	2.で(は)ない	12	30(5)	91	6.非常に	-	1
	3.それ	3	32(5)		ギタ	6	-		3.かもしれない	7	-		7.かなり	-	1
69	4.トル	2	1	75	6.子	-	1	83	4.○	4	-	92	+ 1.冷たかった	19	27(5)
	ギタ	2	-		+ 1.女性	17	17(2)		5.かどう	2	-		2.○	12	9
70	ギタ	2	-	76	3.女の子	10	7(1)	84	ギタ	2	-	93	3.寒くなった	8	-
	1.○	17	9		4.女の	4	6(2)		+ 1.トル	34	30(5)		4.だから	-	1
71	+ 2.ふりつづく	7	12(3)	77	5.○	-	2	85	2.○	4	-	94	2.○	9	-
	3.ふりだしている	4	-		6.子	-	1		3.です	2	1		4.話し合っ	-	4
72	4.ふられる	3	-	78	7.よいです	-	1	86	4.だから	-	1	95	4.どなた	2	-
	5.ふりつづける	2	-		ギタ	1	-		→ので	-	1		5.はなし	-	1
73	6.ふる	2	7(1)	79	ギタ	4	-	87	無答	1	1	96	ギタ	1	-
	7.ふっている	1	2		+ 1.いいです	35	24(4)		+ 1.相談	32	23(5)		1.○	15	2
74	8.つづく	-	2(1)	80	4.いい	-	4	88	2.○	6	2	97	2.ほか	8	-
	9.ふりつづいて	-	1		5.よろしいです	-	2		3.話し合っ	-	4		3.一日	6	1
75	いる	-	1	81	6.かまいません	-	2(1)	89	4.話し合いを	-	2	98	4.別の→違う	4	1
	ギタ	2	-		7.よいです	-	1		5.はなし	-	1		5.時	3	-
76	無答	3	-	82	ギタ	1	-	90	6.?	-	1	99	6.別の→異なる	-	1
	+ 1.して	9	15(2)		+ 1.弟さん	24	30(5)		ギタ	3	-		7.?	-	1
77	2.○	6	8(1)	83	2.兄弟	8	-	91	2.あのところ	10	-	100	無答	1	-
	3.にして	5	-		3.お弟さん	5	-		1.そこ	26	32(5)		+ 1.○	11	23(4)
78	4.になった	5	1(1)	84	4.あなたの弟	-	1	89	2.あの日々	11	23(4)	96	2.○	6	1
	5.になる	3	-		5.弟さん達	-	1		3.○	4	-		3.一日	6	1
79	6.した	2	-	85	6.御兄弟	-	1	94	4.毎日	3	7(1)	101	4.もう少し	5	-
	7.となった	5	1(1)		ギタ	4	-		5.時	3	-		4.毎日	3	7(1)
80	8.にする	2	-	86	ギタ	4	-	92	ギタ	1	-	102	ギタ	3	-
	9.さされて	1	8(1)		+ 1.与えた	21	32(5)		+ 1.○	16	6		無答	1	-
81	10.してから	-	1	87	2.与える	7	-	93	2.日々	11	23(4)	103	ギタ	3	-
	ギタ	5	-		3.くれた	5	-		3.一日	6	1		2.日々	11	23(4)
82	ギタ	5	-	88	4.○	4	-	95	4.毎日	3	7(1)	104	ギタ	3	-
	4.もう	2	-		5.あげる	2	-		5.時	3	-		4.毎日	3	7(1)
83	ギタ	3	-	89	6.持たれた	-	1	100	ギタ	2	-	105	ギタ	3	-
	3.○	8	3		ギタ	4	-		無答	1	-		無答	1	-

4.2 문제별 어휘 오용의 비중

<표1>에서 문제별 어휘 오용의 비중을 보면, 문제18(…いろいろな花がありますが、あなたはある花がすきですか。), 71(…ここでたばこをすってもなりませんか。), 14(…むかしむかしどの所におじさんとおばあさんがいました。), 32(…あしたの朝友だちと駅で見ることになっている。), 11, 37, 75, 90, 40, 78, 25, 56, 19(3.50 이상) 등이 높고, 문제110(…いっしょに山へ行ったことは、うれしい思い出です。), 85(…人々がおおぜい通りを歩いています。), 57(…このとけいは一日に二分おそくなる。), 63(…つゆのころは毎日雨がふりつづけるので気持ちが悪い。), 64, 96, 87, 94, 104, 74, 2, 10(1.50 이하) 등이 낮다.

4.3 일본어 모어화자의 어휘 오용 종류별 인정률

<표6>은 ‘일본어 모어화자의 어휘 오용 종류별 인정률’을 나타낸다. <표6>에서 어휘 오용 종류별 인정률을 보면, ‘10.연체사’, ‘15.속어’(100%)가 가장 높고, ‘14.접속사’(64.8%)가 가장 낮다. 그리고 어휘 오용 종류별 인정률은 개략적으로, I [10.연체사, 15.속어, 13.수량사, 1.품사의 혼동](90.0% 이상), II [7.ㄱ, 2.동사, 16.표현](80% 이상~90% 미만), III [12.부정어, 11.コソア, 3.보조동사, 5.형용사, 6.형용동사, 8.명사](70% 이상~80% 미만), IV [9.부사, 4.관용적인 동사구, 14.접속사](70% 미만)의 4단계로 나눌 수가 있겠다.

<표6> 일본어 모어화자의 어휘 오용 종류별 인정률

오용의 종류 (문제수 : 112)	오용 인정률	순위
1.품사의 혼동 (3)	90.9	4
2.동사 (17)	85.4	6
3.보조동사 (1)	75.8	10
4.관용적인 동사구 (7)	64.9	15
5.형용사 (7)	75.8	10
6.형용동사 (2)	75.8	10
7.ㄱ (6)	88.4	5
8.명사 (21)	75.5	13
9.부사 (12)	66.7	14
10.연체사 (1)	100	1
11.コソア (5)	77.0	9
12.부정어 (10)	79.7	8
13.수량사 (7)	91.8	3
14.접속사 (5)	64.8	16
15.속어 (1)	100	1
16.표현 (7)	80.1	7

주)오용의 인정률은 <표4>의 +표에서 구한 것으로 <표1>을 참조.

4.4 일본어 모어화자의 문제별 어휘 오용의 인정률

<표1>에서 문제별 어휘 오용의 인정률을 보면, 문제1(…大水になっても安全する。), 23(…正しく答えて下さい。), 6(…友達がひとりもない。), 32, 112, 109, 41, 83, 14, 67, 54, 25, 35, 76, 98, 101(16문제) 등이 높고(100%), 문제59(出た先はわかりませんか。), 63(…毎日雨がふりつづけるので…), 22(日本語をおぼえるのはやすくない。), 100, 52, 45(40% 이하) 등이 낮다.

4.5 일본어 모어화자의 어휘 오용 종류별 정정의 유형수

<표7>은 ‘일본어 모어화자의 어휘 오용 종류별 정정의 유형수’를 나타낸다. <표7>에서 어휘 오용 종류별 정정의 유형수를 보면, ‘14.접속사’(3.6개)가 가장 많고, ‘10.연체사, 15.숙어’(1.0개)가 가장 적다. 그리고 어휘 오용 종류별 정정의 유형수는 개략적으로, I[14.접속사, 4.관용적인 동사구, 9.부사, 3.보조동사](3.0개 이상), II[16.표현, 8.명사, 6.형용동사, 5.형용사, 12.부정어, 2.동사, 11.コソア](2.0개 이상~3.0개 미만), III[1.품사의 혼동, 13.수량사, 7.ㄱ, 10.연체사, 15.숙어](2.0개 미만)의 3단계로 나눌 수가 있겠다.

<표7> 일본어 모어화자의 어휘 오용 종류별 정정의 유형수

오용의 종류 (문제수 : 112)	정정 유형수	순위	9.부사 (12)	3.2	3
1.품사의 혼동 (3)	1.7	12	10.연체사 (1)	1.0	15
2.동사 (17)	2.1	10	11.コソア (5)	2.0	11
3.보조동사 (1)	3.0	4	12.부정어 (10)	2.3	9
4.관용적인 동사구 (7)	3.3	2	13.수량사 (7)	1.7	12
5.형용사 (7)	2.4	8	14.접속사 (5)	3.6	1
6.형용동사 (2)	2.5	7	15.숙어 (1)	1.0	15
7.ㄱ (6)	1.5	14	16.표현 (7)	2.9	5
8.명사 (21)	2.7	6	주)정정의 유형수는 <표4>에서 구한 것.		

4.6 일본어 모어화자의 문제별 어휘 오용 정정 유형수

일본어 모어화자의 정정 내역을 나타내는 <표4>에서 문제별 어휘 오용 정정의 유형수를 보면, 문제 7(5月5日は子どもの日で公休日です。), 59(出た先はわかりませんか。), 63(つゆのころは毎日雨がふりつづけるので気持ちが悪い。), 103, 53, 111, 100, 105(5개 이상) 등이 많고, 33문제는 1개로 적다.

5. 맺는 말

본고에서는 한국인 일본어 학습자의 어휘 오용에 대한, 일본어 모어화자의 평가에 대해서 살펴보았다. 그 주요한 결과는 다음과 같다.

- (1) 어휘 오용 종류별 정정의 정답률은 I[13.수량사, 1.품사의 혼동, 3.보조동사, 5.형용사, 2.동사, 7.ㄱ, 10.연체사], II[15.숙어, 8.명사, 9.부사, 16.표현, 4.관용적인 동사구], III[14.접속사, 12.부정어, 11.コソア, 6.형용동사]의 순서로 높다.
- (2) 문제별 어휘 오용 정정의 정답률은 문제6(…友達がひとりもない。), 75(…どんな本を読んだら好きでしょうか。), 27(…やさしいだと言われている。), 12(子どもの生日のパーティには、…), 23, 2, 104, 112, 36, 43(90% 이상) 등이 높고, 문제103(…もっと声を低めてください。), 100(ちょっと紙を買って

- 来てください。またインキも。), 59(…出た先はわかりませんか。), 94(あなたはどの国からいらっ
しゃいましたか。), 108, 62, 56, 77, 29, 33(10.0% 이하) 등이 낮다.
- (3) 한국인 일본어 학습자의 어휘 오용 종류별 정정의 유형수는, I[16.표현, 4.관용적인 동사구, 6.형용동
사, 12.부정어, 9.부사, 14.접속사, 10.연체사, 11.コソア, 15.숙어], II[1.품사의 혼동, 8.명사, 2.동사, 7.
ダ, 3.보조동사], III[5.형용사, 13.수량사]의 순서로 높다.
- (4) 한국인 일본어 학습자의 문제별 어휘 오용 정정의 유형수는 문제106(学生にほしいことは次のような
ことです。), 64(道路が立体化になってから自動車のながれがよくなった。), 33(よく考えもしないで
わからないなんか言うのは、…), 20, 7, 59, 105, 103(7개 이상) 등이 많고, 23, 1, 32, 75, 12, 104(1개)
등이 적다.
- (5) 어휘 오용 종류별 비중은 I[10.연체사, 6.형용동사], II[15.숙어, 7.ダ, 1.품사의 혼동, 5.형용사, 2.동사, 14.접
속사, 12.부정어, 13.수량사, 9.부사], III[11.コソア, 16.표현, 8.명사], IV[3.보조동사, 4.관용적인 동사구]의 순
서로 높다. 그리고 오용의 종류별, 비중과 오답률은 일정한 관계가 없다.
- (6) 문제별 어휘 오용의 비중은 문제18(…いろいろな花がありますが、あなたはある花がすきですか。),
71(…ここでたばこをすってもなりませんか。), 14(…むかしむかしどの所におじさんとおばあさんが
いました。), 32(…あしたの朝友だちと駅で見ることになっている。), 11, 37, 75, 90, 40, 78, 25, 56,
19(3.50 이상) 등이 높고, 문제110(…いっしょに山へ行ったことは、うれしい思い出です。), 85(…
人々がおおぜい通りを歩いています。), 57(…このとけいは一日に二分おそくなる。), 63(…つゆのこ
ろは毎日雨がふりつづけるので気持ちが悪い。), 64, 96, 87, 94, 104, 74, 2, 10(1.50 이하) 등이 낮다.
- (7) 어휘 오용 종류별 인정률은 I[10.연체사, 15.숙어, 13.수량사, 1.품사의 혼동], II[7.ダ, 2.동사, 16.표현],
III[12.부정어, 11.コソア, 3.보조동사, 5.형용사, 6.형용동사, 8.명사], IV[9.부사, 4.관용적인 동사구, 14.
접속사]의 순서로 높다.
- (8) 문제별 어휘 오용의 인정률은 문제1(…大水になっても安全する。), 23(…正しく答えして下さい。), 6
(…友達がひとりもない。), 32, 112, 109, 41, 83, 14, 67, 54, 25, 35, 76, 98, 101(16문제) 등이 높고
(100%), 문제59(出た先はわかりませんか。), 63(…毎日雨がふりつづけるので…), 22(日本語をおぼえ
るのはやすくない。), 100, 52, 45(40% 이하) 등이 낮다.
- (9) 일본어 모어화자의 어휘 오용 종류별 정정의 유형수는, I[14.접속사, 4.관용적인 동사구, 9.부사, 3.보
조동사], II[16.표현, 8.명사, 6.형용동사, 5.형용사, 12.부정어, 2.동사, 11.コソア], III[1.품사의 혼동,
13.수량사, 7.ダ, 10.연체사, 15.숙어]의 순서로 높다.
- (10) 일본어 모어화자의 문제별 어휘 오용 정정의 유형수를 보면, 문제7(5月5日は子どもの日で公休日
です。), 59(出た先はわかりませんか。), 63(つゆのころは毎日雨がふりつづけるので気持ちが悪い。),
103, 53, 111, 100, 105(5개 이상) 등이 많고, 33문제는 1개로 적다.

위의 결과는 교사에게 중요한 시사점을 주고 있다. 즉 어휘의 오용은 모두 동등하지 않고 각기 비중
을 가지고 있으며, 어휘 오용 종류별 I[연체사, 형용동사], II[숙어, 다, 품사의 혼동, 형용사, 동사, 접속
사, 부정어, 수량사, 부사], III[코소아, 표현, 명사], IV[보조동사, 관용적인 동사구]의 비중 순서로 엄하게
평가하는, 오용 정정의 하나의 기준을 얻을 수 있다는 점이다. 그리고 오용의 종류별, 비중과 오답률은
일정한 관계가 없어, 학습자에게 어려운 어휘 학습 항목일수록 언어 전달상에서 더 지장을 준다고 할
수는 없으므로, 오답률이 낮은 항목도 소홀히 지도해서는 안 된다는 점이다.

【注】

- 1) 조남성(1997 : 71~84)의 「誤り評価研究の現状と課題」(『大田産業大学校論文集』14)에서는 오용의 비중을 구하는 오용 평가에 대한 설명과 일본어교육에서의 오용 평가의 연구 동향에 대해서 자세히 기술하고 있다.
- 2) 아래의 표는 정용에 대한 한국인 일본어 학습자의 정정과, 일본어 모어화자의 정정과 평가의 내역이다.

번호	정정 유형	K*	J**	①			②			③			④			⑤		
①	1.女性	17	6	1.暮す	27	1	1.○	11	24	1.○	23	21	1.準備	27	4			
	2.○	10	20	2.○	9	25	2.それでも	9	1	2.つまり	8	6	2.ご用意	5	-			
	3.女	9	-	3.生活する	2	1	3.しかし	8	-	3.言わば	3	-	3.○	4	23			
	4.女子	2	-	② 4.生きる	2	-	4.ただど	4	1	4.という	-	1	⑤ 4.したく	2	1			
	5.女の子	2	-	5.?	-	1	5.けれども	3	-	기타	7	-	기타	2	-			
	6.?	-	1	기타	1	-	6.?	-	1				무답	2	-			
	기타	1	-				7.でも	-	1					1	-			
무답	-	1				기타	6	-										

번호	K의 정답률 (%)	J의 인정률 (%)	J 판정의 오용비중	③	26.8	85.7	0.14
①	24.4	71.4	0.31	④	56.1	75.0	0.15
②	22.0	89.3	0.24	⑤	9.8	82.1	0.30

*K(41명) : 한국인일본어 학습자 **J(28명) : 일본어 모어화자

- 3) 참여자의 전공 내역은 언어학 10명, 일본어교육 9명, 일본문학 4명, 일본어·일본문학 2명, 일본어·일본문화 1명, 일본어학 1명, 철학 1명이다.

【참고문헌】

- 1.手代木久美(2000), 『韓国日本語学習者に見られる日本語誤用例文の分析-大学の作文テストの答案に現れた誤りを中心に-』, 고려대학교 대학원 석사학위논문.
- 2.이현기(1992), 『일본어 함정』, 동아출판사.
- 3.조남성(2000), 「한국인 일본어학습자의 문법 오용에 대한 모어화자의 평가」, 『日本語學研究』2, 韓國日本語學會, 233-255.
- 4.市川保子(1997), 『日本語誤用例文小辞典』, 凡人社.
- 5.寺村秀夫(1990), 『外国人学習者の日本語誤用例集』(特別推進研究「日本語の普遍性と個別性に関する理論的及び実証的研究」分担研究「外国人学習者の日本語誤用例の収集、整理及び分析」資料).
- 6.Hultfors, Pär(1986), Reaction to Non-Native English,Part1:Acceptability and Intelligibility. Stockholm Studies in English. Stockholm:Almqvist & International.
- 7.Johansson, Stig (1975), Paper in Contrastive Linguistics and Language Testing. Lund:CWK Gleerup.
- 8._____ (1978), Studies of Errors Gravity, Native Reactions to Errors Produced by Swedish Learners of English. Gothenburg Studies English 44, Gothenburg: Acta Universitatis Gothoburgensis.
- 9.Khalil, Aziz (1985), “Communicative Errors Evaluation:Native Speakers’Evaluation and Interpretation of Written Errors of Arab EFL Learners,” TESOL Quarterly, 19, 2, Jun., 335-351.

■ 조남성

한밭대학교
138-795 서울 송파구 신천동 진주아파트 12-405
042-821-1353
chons@hanbat.ac.kr